

地域間地震防災フォーラム 我が家と地域の耐震ワークショップ

キンキ地質センター	正会員	○増田 信
愛媛大学	フェロー	森伸一郎
応用地質	正会員	高柳朝一
芙蓉コンサルタント	正会員	須賀幸一

1. はじめに

近い将来に発生が予想されている東南海・南海地震では四国の海岸部で津波被害が予測され、津波被害に対する減災に向けた避難訓練や避難対策が各所で講じられ、海岸部の地域では津波被害に対する防災意識が高くなっている。著者らも「愛媛地震防災技術研究会（会長：森伸一郎、会員約 50 名）」に所属し、今までに愛媛県内において津波防災を題材とした住民参加型のワークショップを数回にわたって実施してきた。しかしながら、津波が来る前に強い揺れが予想され、津波から逃げる前に家屋や避難路が被災することが危惧される。逃げるために倒れない家や通れる避難路を確保する必要がある。すなわち、「我が家の耐震」は「地域の耐震」の問題となる。また、各地の自主防災活動は地域の特徴があり、その違いを認識することはバランスの取れた防災のためには重要である。図-1 に示すように四国の南西端に位置し海岸に面して隣り合う愛媛県愛南町と高知県宿毛市は似た環境にあり、それぞれの住民が一堂に会して、「我が家と地域の耐震」を学び意見を交換することを意図してフォーラムを企画し、我が家と地域の耐震をテーマとしたワークショップを実施したので、ここにその事例を紹介し、得られた成果と今後の課題について報告する。

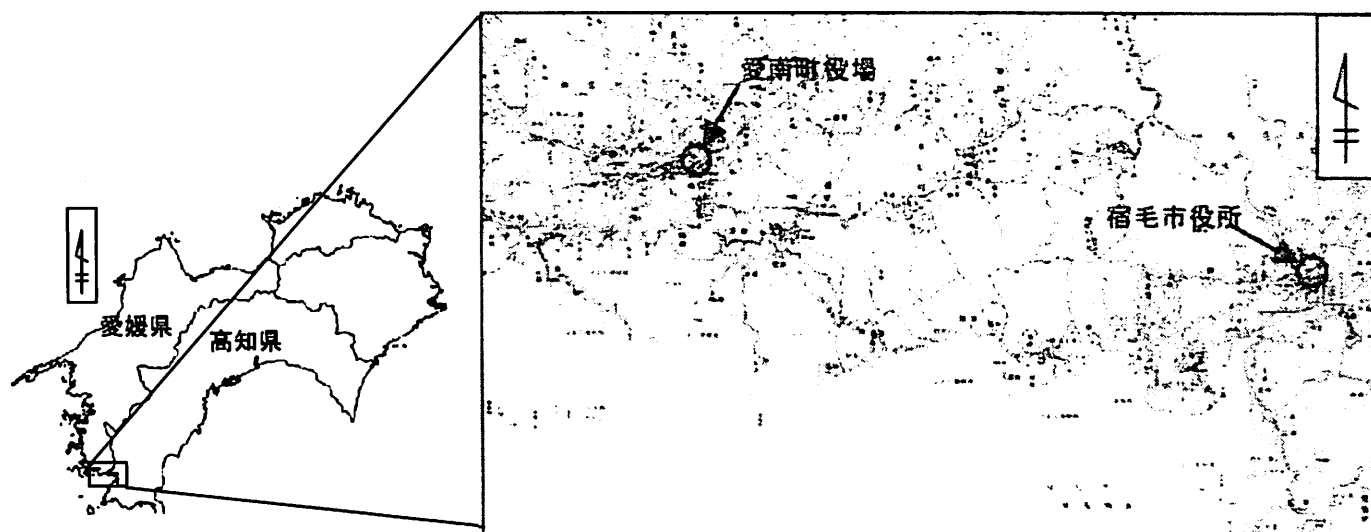


図-1 愛媛県愛南町および高知県宿毛市の位置関係と地形

2. 地域間地震防災フォーラム

(1) 概要

フォーラムは平成 19 年 11 月 4 日に宿毛市農協会館にて行われた。参加者は宿毛市民 80 名、愛南町民 20 名、運営関係者 20 名の計 120 名であった。運営プログラムを図-2 に示す。ワークショップの前に木造住宅の耐震診断と耐震補強（事例）の現状や地域ですすめる結果防災のまちづくり等の講演を行い、参加した住民が耐震診断や防災のまちづくりについての基礎を学び、ワークショップで自らが参加し考える機会とした。

ワークショップに参加する住民には、事前に（財）日本建築防災協会編集、国土交通省住宅局監修の「誰にでもできる我が家の耐震診断」の診断書によって各住民の我が家を自己診断した結果と我が家のご近所ラ

ンキングと称して自宅を中心に向こう三軒、両隣り、裏三軒と合計9軒の住宅の中で、我が家の自己耐震診断結果と照らし合わせて我が家が地震に対する強さが9軒の中の何番目にあるかをアンケートした。

ワークショップの班編成は、事前アンケートの我が家のご近所ランキングにより我が家のランキングが上位（強い方）または下位（弱い方）の二つに区分し、宿毛市・愛南町の両住民の混成で10班に分かれた。

(2) ワークショップ

ワークショップではグループ毎に事前アンケートや講演を基にして①耐震診断の着目点、②個人でできる地震対策・地域でできる地震対策の二つのテーマに対して話し合った。テーマ②では、我が家が上位（強い方）、または下位（弱い方）の班毎に、強い方は、弱い家に対する地域の対策を考えた。また、弱い方は、自分の家を強くする方法や地域に助けてもらう方法を考えた。グループ内での話し合い状況を写真-1に示す。話し合いの中で出てきた意見を書き込み、問題点を集約し、耐震に対する具体的な着目点や避難ができるために必要な防災対策の課題について広く議論することができた。

(3) 住民の意見

グループごとの成果の発表状況を写真-2に示す。グループには宿毛市・愛南町の両住民の混成であるが、生活環境が似ていることから地域の違いによる大きな意見の隔たりは見られず、我が家の耐震診断を行う上での着目点と判断基準がさまざまな視点から取上げることができた。

3. ワークショップの成果と今後の課題

各自治体では木造家屋の耐震診断から耐震補強工事までの経費に対しての補助施策があげられているが、その実施率は芳しくないのが実情である。ワークショップによって住民自らが我が家の耐震診断を行い、地震に対する弱点を認識できたことは、これからの防災活動に反映されることが期待される。

南海地震に対する防災活動はこれまでは津波防災に主眼が置かれていたが、避難するためには家屋の耐震対策が重要である。阪神・淡路大震災時にも死亡者の約9割は建物倒壊によると言われており、今後は他地域の住民に対しても家屋の耐震診断・耐震補強の啓蒙が必要と考える。

謝辞：本フォーラムは、日本建築学会災害委員会支部企画費及び土木学会四国支部研究活動助成金(A)の援助を受けました。開催に際しては宿毛市、愛南町の関係者に大変お世話になりました。記して、感謝致します。

1. 開会挨拶 (14:00~14:05)
京都大学教授 林 康裕
2. 主旨説明 (14:05~14:15)
愛媛大学准教授 森 伸一郎
3. 講演 (14:15~15:20)
 - (1)「我が家の耐震診断と耐震補強（事例）」
熊沢構造設計事務所 熊沢 基覚
 - (2)「木造建物の耐震診断と耐震補強の現状」
京都大学教授 林 康裕
 - (3)「地域ですすめる結果防災のまちづくり」
秋田県立大学准教授 渡辺 千明
4. ワークショップ (15:30~16:55)
 - 1)ワークショップの主旨と進行の説明
 - 2)ワークショップ・班での作業開始（10班に分かれる）
 - 3)作業終了（現状と対策のまとめ）
 - 4)代表2班の発表
 - 5)講評
5. 閉会の挨拶 (16:55~17:00)
宿毛市総務課 山下課長補佐

図-2 地域間地震防災フォーラムのプログラム



写真-1 ワークショップでの班内の話し合い状況



写真-2 代表的な班の発表状況